

「省エネ市民会議」					
会議年月日	25年11月22日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	高橋、難波、平手、山田、新田、新美、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
クルマについて考える(司会:春田)					
1, クルマの社会性(再確認)					
車は244年の歴史があり現代の生活において欠かせない道具であるがCO2排出など課題がある。					
2, 課題への取り組み					
米国は、中東石油依存を低減するためエタノール30%導入を目指している。					
欧州は、バイオ燃料導入と共にクリーンジーゼル化を推進。					
日本は、クルマ(低燃費化、バッテリー化など)、燃料(水素など)、インフラ(情報化による運転支援など)で。					
3, 環境にやさしいクルマ社会(ITS社会)					
a: 都市部の渋滞対策を情報インフラを使って対応する。					
(平均時速が1km向上すると燃費は1%向上。東京=18km、パリ=26km、ロンドン=30km)					
・ETC機能の充実 ・ITSスポットサービス(渋滞箇所を回避) ・信号制御システム(交差点の通過)					
b: ITSスマートシティを目指して(柏市の事例)					
・幹線道路や市街地の渋滞対策 ・高齢化に伴う移動手段の確保 ・交通空白地帯への対応					
 					
c: 誰でもができるエコ運転術					
・エコドライブの基本(運転姿勢、運転燃費)					
・発進時(停止状態から動き始めが最も燃料を使う)					
・走行時(スムーズな運転で加減速を少なく)					
・停止時(アイドリングストップ)					
・運転以外の対策(タイヤの空気圧は適正に等)					
<次回の予定>					
12月13日(金)13:30~15:30 生涯学習センター(A102会議室)「PPS(特定規模電気事業者)について」					